

# 知りたいことを考えて、しつもんしよう

中心学習材「もっと知りたい、友だちのこと」（光村図書3年上）

日 時：令和5年7月13日  
 授業者：上森 奈々子  
 児 童：3年2組31名

## 1 単元構想

### (1) 児童の実態

- ・2年生で学習した友達の話を受けて話をつなぐこと（質問・復唱・受容・感想）について、朝の会のスピーチなどの活動場面を設定している。まだ十分に身に付いていないが、受容的に聞こうとする児童が多い。
- ・友達の話に対して、意図的に質問をする経験は、初めてとなる。
- ・話し手が話す内容に最後まで注意を向けて聞き、話の内容を捉えることが難しい児童がいる。

### (2) 国語科の目標

<学習の系統性> 2年「あったらいいな、こんなもの」 友達に質問をして、相手の考えを引き出す。	<重点指導事項> [知] 相手を見ながら話を聞き、話に対する反応を話し手に示す力（知（1）イ） [思] 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、自分の考えをもつ力 (A（1）構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有エ) [学] 積極的に話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、自分の考えをもつ力	<学習の系統性> 4年「大事なことを落とさずに聞こう」 必要なことを記録したり質問したりしながら聞く。
---	---	---

### (3) 教材の特性と主たる言語活動

#### ① 教材の特性

本単元では、3人程度のグループで話し手と聞き手に分かれ、友達に知ってほしいと思う身近なことを話題としたトークタイムを設ける。聞き手ももっと知りたいと思うことをはっきりさせ、質問しながら聞くことに重点を置く。質問の内容によって話し手から得られる情報が異なることを踏まえることで、質問の種類や引き出したい情報を考えながら聞くことを意識付ける。また、質問をすることで友達についてよりよく知ることができるよさを共有し、話し手の伝えようとした思いや新たな一面に気付くことを目的としてトークタイムを行うようにしたい。互いの話に関心を持ち、主体的に聞くことを通して、聞くことや質問することの役割やよさについて考えることにつながる教材である。

#### ② 主たる言語活動「聞きたいことを考えて質問し、心に残ったことをつたえ合う活動」

- ・グループの一人が話し手となり、聞き手は話題に沿って質問をするトークタイムを設定する。話し手は、「好きなことやもの」「今ががんばっていること」「大切にしているもの」から選び、作成したメモを基に友達に伝える。聞き手は、質問をして分かったことを踏まえ、心に残ったことを伝え合うことで、話し手も聞き手も、質問することのよさを実感することができる。
- ・トークタイムの様子を録画した動画を基に振り返ることで、話の中心を捉える聞き方や、会話が広がる質問はどのようなものか、考えることにつながる。

### (4) 本研究主題達成のための手立て

#### ① よりよく獲得させたい国語科固有の資質・能力

必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、自分の考えをもつ力

#### ② 学びを推進する力

##### <論理的に思考する力>

話し手の話題や、聞きたいこと、自分の考えに沿った質問を考える力

##### <受容・共感する力>

友達の話を聞いたり、質問して分かったりしたことを基に、感想を伝える力

#### ③ 具体的方策

(第4・5時) ※本時

トークタイムの中で、話し手が話題を提示することで、何について話そうとしているかを聞き手が捉えられるようにする。聞き手は、質問カード（ワークシート）を手掛かりに、話し手の伝えたいことや、自分の聞きたいことに合わせて質問する。

(第4・5時)

友達に質問しながら話を聞いたことを基に、質問をして得られた情報や、話し手が伝えたいと思った気持ちについて理解したことを、心に残ったこととして友達に伝えることを、トークタイムの最後に位置付ける。

## 2 単元の学習計画

### (1) 単元の評価規準

- [知] 相手を見ながら話を聞き、話に対する反応を話し手に示している。(知(1)イ)  
 [思] 「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと  
 の中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有エ)  
 [主] 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと  
 の中心を捉えようと積極的に質問しながら聞き、心に残ったことを伝えようとしている。

### (2) 指導と評価の計画(6時間)

次	時	○学習活動・学習内容	指導上の留意点 (発揮させる学びを推進する力)	評価規準・評価方法等
一	1	○学習計画を立てる。 ・言語活動を知り、課題を設定する。  ・学習計画を立てる。  どのような聞き方をすると、友だちのことをもっと知ることができるか。	・2年生までに学習した、上手な話の聞き方を振り返ると同時に、普段の話の聞き方を具体的に振り返ることで、目指す姿を共有し、学習への課題意識につなげる。  〈課題を設定する力〉 ・質問や話の聞き方について学習を進めることと、グループでトークタイムを行うことを示し、学習活動への見通しがもてるようにする。  〈見通す力〉	
二	2	○話し手として、友達に知らせたいことを決める。 ・知らせたいこと(話題)と、それについての内容をワークシートにまとめる。  友だちに知らせたいことは、どのようなことか。	・学級の友達について、よく知ることができそうだと意欲をもって取り組めるように、複数の話題を用意する。(「好きなことやもの」「今がんばっていること」「大切にしているもの」) ・知らせたい話題について簡潔に整理できるワークシートに表すことで、聞き手として聞く際にも、聞くポイントをつかめるようにする。  〈論理的に思考する力〉	
	3	○知りたいことを聞くための質問の種類や話の聞き方を整理する。 ・モデルの音声を聞き、質問の種類や質問の仕方を話し合う。  どのような質問の仕方をするとよいか。	・モデルの音声を途中で区切りながら聞き、話し手に対して質問したいことを出し合うことを通して、聞きたいことによって質問の仕方が異なることに気付くようにする。 ・話し手の内容と質問を比べ、適切な質問とはどのようなものか、考えをもてるようにする。  〈論理的に思考する力〉	[知識・理解] 活動の様子・動画 相手を見ながら話を聞き、話に対する反応を話し手に示しているか確認する。
	4・5 本時	○友達の話を聞き、質問をし合う。 ・話し手と聞き手に分かれて、質問をし合う。  質問をすると、友達についてどのようなことが分かるか。  ・友達の話を聞き、心に残ったことを伝え合う。 ・質問をしてよかったことを振り返る。	・タブレット端末を使い、トークタイムの様子を録画することで、第6時に質問の仕方について振り返られるようにする。 ・3～4人グループでトークタイムを行い、質問をしながら友達の話を聞いて心に残ったことを伝え合うことで、質問しながら聞くことのよさについての実感につながるようにする。  〈論理的に思考する力〉 〈受容・共感する力〉	[思考・判断・表現①] 活動の様子・動画 ・発言 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと の中心を捉え、自分の考えをまとめているか確認する。
三	6	○話を聞いて質問するとき大事なことをまとめる。 ・トークタイムを振り返る。  学習したことを振り返ろう。	・ICTで記録した動画を基に、トークタイムを振り返り、質問の種類や質問するとき大事なことについて考えをまとめられるようにする。  〈メタ認知する力〉	[主体的に学習に取り組む態度] 活動の様子・動画・発言 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと の中心を捉えようと積極的に質問しながら聞き、心に残ったことを伝えようとしているか確認する。

### 3 本時の指導（5／6時）

#### (1) ねらい

必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉え、自分の考えをもつことができる。

#### (2) 展開

学習活動 ・ 学習内容 (◎主発問)	指導の手立て 〈主に発揮させる「学びを推進する力」〉 (※評価)												
<p>1 前時の学習を想起する。 ・前時のトークタイムを振り返る。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     質問すると、友達についてどのようなことが分かるか。                 </div>	<p>・前時のトークタイムのよかった点や課題となる点を振り返り、本時の学習課題につながるようにする。</p> <p>・質問の答えに対して、感想を言うことで話がつながったなど、共感的な話の聞き方を価値付け、本時の活動の中で活用できるようにする。</p> <p>・本時は、友達に質問をして新たな情報を得たり、どんな気持ちで伝えようとしているかに気付いたりして、友達についてもっとよく知るために質問をすることを確認し、課題意識を共有する。</p>												
<p>3 4人1グループでトークタイムを行う。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">A 話し手</td> <td style="padding: 2px 5px;">B 記録 (動画)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">C 聞き手</td> <td style="padding: 2px 5px;">D 聞き手</td> </tr> </table> <p>(1) 話の内容について、もっと知りたいことを考えながら聞く。</p> <p>(2) 話を聞き終わったら、特に質問したいことを選んで、質問する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【ワークシート】 話し手                  さん</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">いつ</td> <td style="width: 15%;">どこで</td> <td style="width: 15%;">だれが</td> <td style="width: 15%;">何を</td> <td style="width: 15%;">どのように</td> <td style="width: 15%;">なぜ</td> </tr> </table> <p>心にのこったこと</p> </div> <p>(3) 友達の話や質問の答えを聞いて、心に残ったことを伝え合う。</p> <p>4 学習のまとめをする。 ・友達に質問をして分かったことをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達についての新しい情報</li> <li>・友達について、もっと知りたいと思ったこと</li> <li>・友達の好きなことや、大切にしていること</li> <li>・どうして伝えたいと思ったかという、友だちの気持ち</li> </ul> </div>	A 話し手	B 記録 (動画)	C 聞き手	D 聞き手	いつ	どこで	だれが	何を	どのように	なぜ	<p>・聞き手が話の内容に対してもっと知りたいことを考えられるよう、前時までの学習内容を示した後に、トークタイムを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【話し手】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">                     家でかっている魚 (クマノミ)                 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">                     ・オレンジ色に白いおび ・きれい                 </td> <td style="padding: 5px;">                     ・えさを食べているところがかわいい                 </td> </tr> </table> </div> <p>・話し手は、「今がんばっていること」など、話題を示してから話すことで、聞き手が話の中心を捉えながら聞くことができるようにする。</p> <p>・ワークシートに「いつ・どこで・だれが・何を」「どのように」「なぜ (どうして)」の質問の種類を示した枠を設け、話を聞き終わった後に知りたいことに合わせて質問するための手助けとする。</p> <p style="text-align: right;">〈論理的に思考する力〉</p> <p>・質問をして新たに分かったことはどのようなことか、また、話し手が伝えなかった気持ちはどのようなものであったかを「心にのこったこと」として話し手に伝える。</p> <p style="text-align: right;">〈受容・共感する力〉</p> <p>※必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉え、自分の考えをもっている。(ワークシート、発言)</p> <p>・本時の学習で分かったこととして、質問をして新たに得られた友達の情報や、友達の伝えたいと思った気持ちについて、ワークシートに記述した後、まとめとして全体で交流する。</p>	・オレンジ色に白いおび ・きれい	・えさを食べているところがかわいい
A 話し手	B 記録 (動画)												
C 聞き手	D 聞き手												
いつ	どこで	だれが	何を	どのように	なぜ								
・オレンジ色に白いおび ・きれい	・えさを食べているところがかわいい												
<p>5 学習を振り返る。</p>	<p>・どのように質問をしたことで友達について知ることができたかを問うことで、学びの自覚化につながるようにする。さらに、次時で質問の仕方について振り返ることを伝える。</p>												

### (3) 評価

評価規準 《評価方法》	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと <span>の中心を捉え、自分の考えをもっている。《ワークシート、発言》</span>
見取りの要素と 表現例	○見取りの要素 話し手の話の内容に関わり、聞きたいことを考えて質問することで心に残ったことをまとめている。 ①質問をして得られた情報について触れている。 ②質問をしたことで、話し手が伝えたいと思った気持ちについて理解したことに触れている。 【例】 ○○さんが、②クマノミをととても好きだということがよく分かりました。①自分で名前を付けたことも、大好きな理由の一つなのかなと思いました。
個に応じた支援	・質問をした内容と、それに対する答えを振り返り、分かったこととしてまとめるようにする。